



工 事 タ イ ム ス

○高田貞一氏 大東京に接して埼玉縣の土木事業は可成り多忙なものであつた。其埼玉縣土木課の技師として高田氏は立派な工事を數多く仕上げた人だ。秩父のアーチ橋や、東京に近い戸田橋などの設計施工は工事畫報を通じて斯界に尙深い印象を残してゐる。

先年埼玉縣下の大地震災害後は尙一層の多忙であつた様だ、今回突然その高田氏が兵庫縣土木部に榮轉せらるるに際して、我等は東京附近に熱誠なる一技術家を失ふ事を残念に思ふが、然し兵庫縣の爲には喜ばしい事である。

山本卯太郎氏 わが國に於ける可動橋工學の一方の權威であり且つ有力な業者でもあつた大阪山本工務所主山本卯太郎氏は下關方面に出張中發病、入院加療中であつたが、四月二十日午前十一時遂に長逝された。氏はよく本誌へも可動橋に就ての有益な記事を寄稿された事もあり、名古屋高工では教鞭をとられてゐた程で現在朝鮮及び關西方面に有數な現場をも持たれてゐたのであるが、享年四十五歳にして永眠された事は限りなき悲しみである。氏は異常な活動家であつただけに、保守的なわが土木工學界では随分反對者もあつたらしいが、何れにせよ氏が我國に於ける可動橋の發達に盡された偉大なる功績

は誰しも認める處で、かけ替のない人を失つたと云ふ哀しみがひしひしと迫るのを覺える。

○軍人會館建築概要 昭和七年二月、懸賞募集の結果一等に當選せる小野武雄氏の設計案に依り工事に着手した東京九段下の軍人會館は、三月二十日完工し同二十五日盛大な落成式を舉行した。新築せられた軍人會館は本號口繪並に上掲寫眞に見られる通り、日本式を加味せる様式の特種なものである。工事概要次の通り。
敷地面積1776坪・建坪1034坪餘・延坪4377坪餘・鐵骨鐵筋コンクリート造地階付4階建て、講堂、集會所、

ホール、宿泊室等が設けられてゐる。

○大阪國技館建築決定 豫て大阪に東京國技館を凌駕する一大國技場を建設すべく計畫中の處、愈々此程東京麴町區幸ビル旭土地興業株式會社の投資によつて建設し改めて關西相撲協會に貸與することに決定した。建設地は大阪市旭區董の莊地内敷地約五萬八千坪の内五千坪に建設せんとするもので、既に實施設計は丸ノ内葛西田中建築事務所で此程完成し目下起工準備中である。尙入札に就ては東京に於て施行すると云つて居るが、何しる總工費800萬圓の巨額に上る大工事であるだけにその間の暗躍を考慮して或は競争入札に附せず特命施工となるのではないかと見られ、着工は種々準備工作の爲め本年秋頃に工期は約二ヶ年餘の豫定である。同國技館のスケールは大體東京の國技館の建築様式を遙に擴大したもので、鐵骨鐵筋コンクリート造り四階建中央を大ホールとする延四千坪の近代味豊かな我國に誇り得る巨大なものと云はれて居る。且本建築の最も特異とするところは同屋上を飛行機發着所とすること、之は最近頗る重大化した航空事業の將來に鑑み大都會の中心地に之が發着所の必要を認めたもので我國としては最初の設備であり、設計者葛西博士も同設計には多大の苦心を拂つたとのこと。